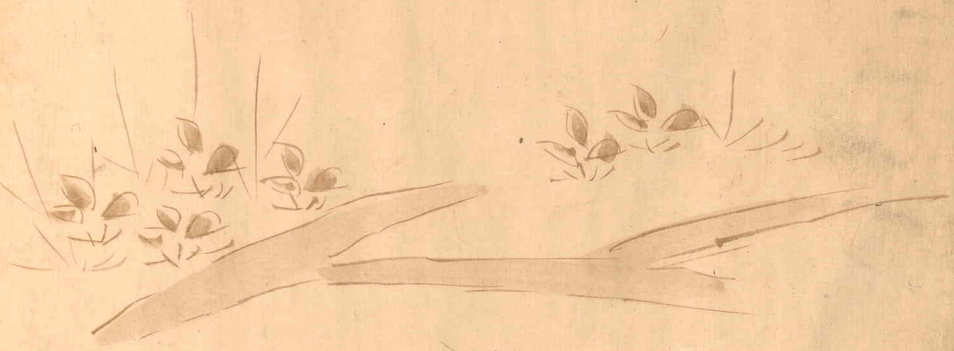
913.5
H37

PL755.35
161, v.1

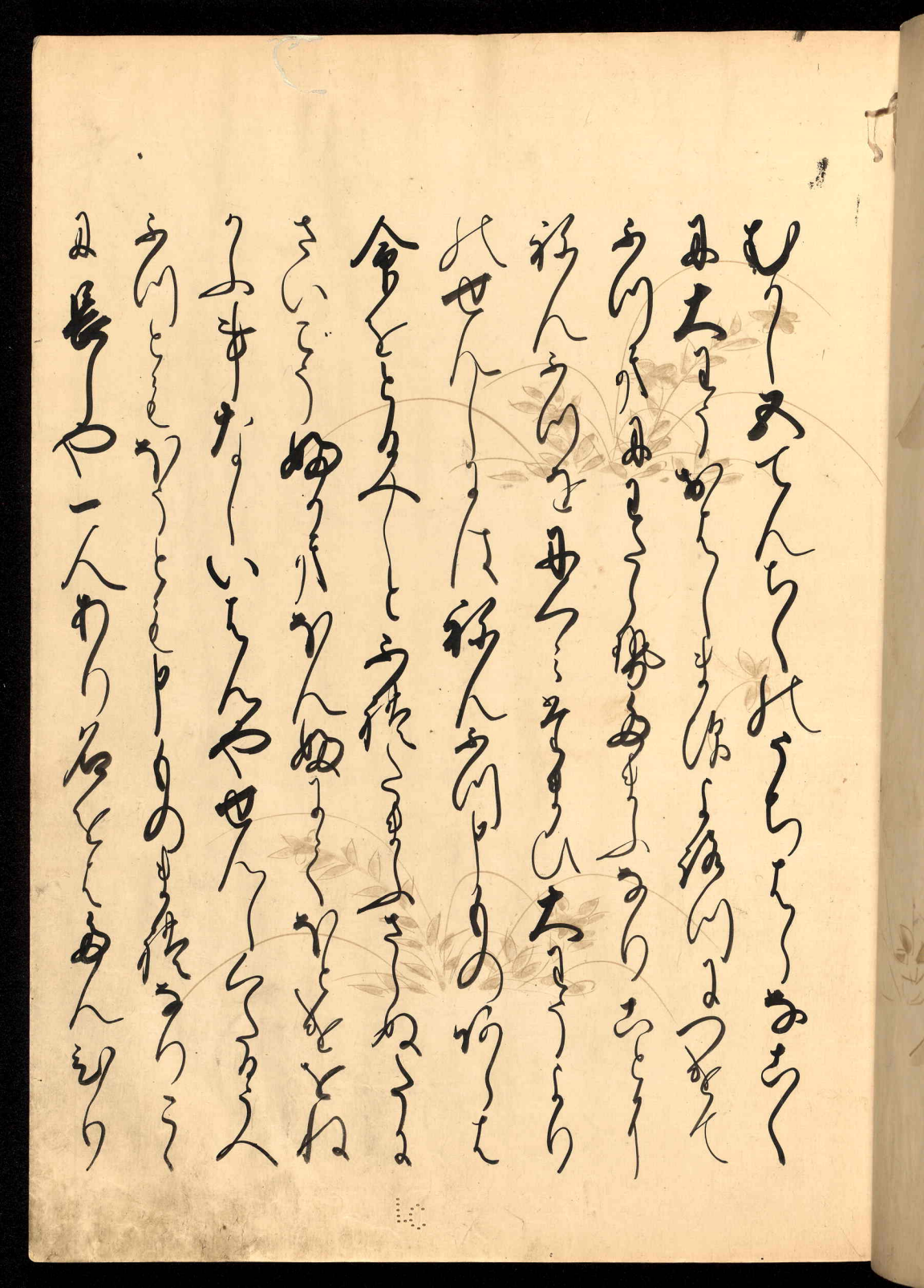
Hō-myō dō-zhi,

THE LIBRARY OF CONGRESS

119907
09

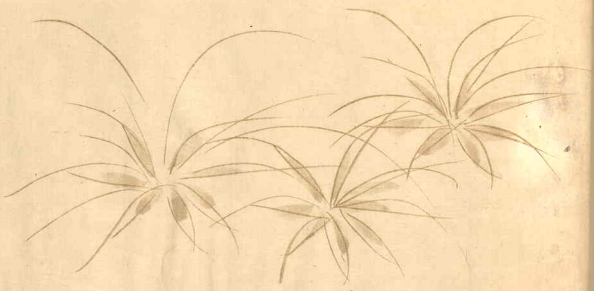


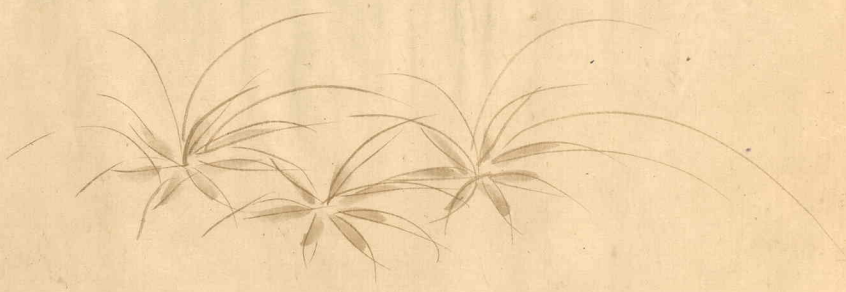
THE LIBRARY OF CONGRESS



長しやとゆるりみてんらくは三人の
ちやうしやわり二人そくらいは長しや
一人そ三四さい長しやとゆけ中は
七ちんまんなうすくまさうたかの為ん
却り長しやうりさうなりとは宮なう宰
つまあうさ十ちやうは迷の他とつ也さ
うらは五のいらん我なしへしやうう絶
なしをしたか宝まん屋うらくとさを世
んさんれまなひそよりはくんしくう
てんむすをなしへよう得たれめさをさま

あしかはしきやうどくやしとも二種にはい
りくまさしとはみえまをうちうきとも
郷子とくりの三一人をかけしまゆちて
たて其いとおしきなりくやたうはし
三人れものとは何ひそ人お所しいの
なきあいものかとは志をは何ひそ人の
うりのかうりうまるしおとなしをなせ
あまふにきさかりくみかうらんにすて
種ほとんさいりくあしてつ○れんにかり
宇りとし月と姉のいとに八さいにかり





ちゝめきこゆるにかはりそめらるの
うくらゐにつきゝやうらんにちかはゝると
いふところのみきとくにけ君わりのつきや
はこ一年に一人ひつとまえとそなるへく
なにはりちらめまそめやし正月十
六日によりまいるにとさらくもりて
さくいみたる○かへりとよりすかるか
めくいけ聖せてぬつ聖すて同年
此六月十六日によりまいる人の能大なる人まつ
世らせこちかゝみのくんひれ長やはい

よしまとよのかまいりぬへうらんも
つまやかうりうて母のこと申さんわだらん
めしまかれぬうみかゝるみなかな
ほかにもとさもとうくさんとくきの
いまし一七日めくらまうの長やうや
ふとうのみさんろう申さしよく
一七日の精ともちかしなし二七日にせい
すへしとしとかし稲かうんかりせまく
めんそかさんくれちくむせんしとき
ねんす三七日のまんつかわろきかいひ

さらぬ長しやぬるゝふのねまりなきくて
しみふかんたりありておりし年みす
くかちらはいかのかいとりかへ
ゐしとわりましらんそしやある
しらとくもやふふいきこりみま
ゆをきりかけつゝわりち我ともかへし
こしゐをかくこしふかの人わか今かくまも
おのゐんそくとひきやゝみひとわりとも子
ともおまつめのさまされらてすへ人こり
おらしいたりひいはよのきらわけの長しや

あてなるやうなるみめうつくしき女一人あり
めりとれかくてのち世をのかれはてき
ありけるのなりしの下総見え給人
事わりくかうりうしみちなりかへ
うくそ世にわひしくそなかみなく
ゆききそものこしつ伊の遣らかへいひ
なんて一人ありさいへるみしのきれ
まへりしの家よりしくるりかきぬて
うきれわさましきれうきゆのいとのちて
くしもかくつゆけはとももゆへす火になる

物さ[illegible]ゆふなの事ふり[illegible]えたそく
うさりなくなり事なきのこうしたれ
むかひくといふまふ[illegible]て[illegible]ちまいち
ちと[illegible]人いかりしまた[illegible]やかしつゝ
ものをなしなまとくたしこ一人[illegible]
ましてうゝろわさまし[illegible]とさせ
結ふんと[illegible]れて[illegible]
[illegible]さ[illegible]たとよ[illegible]ハかうと
て世[illegible]かく[illegible]なり[illegible]
さいのさしうらしまをしてう[illegible]

うきてかくる世のつねひとへつまとて
りひつるをみをみな侍りしかな
るひとりかとなりそひとうりぬる
さそはるゝやみこそわりけるそやうき
人とうらみのかんまうしとゝもとふ
たゝくあまひくをくそのあはれ
そろのうるのはまぬつなみてるてさの
あらふうらうみぬまゐてもろこと
くしれとこひへたゆかしさやみ本
ありひあまへうきとくはるあの

なりきれりとも　ワの子のよしい万
葉（せい）となりそらへ　天の力をかれとも
こうしの命ゆゑ　ゆゑへ　わしかとそ
ゆゑとしいよろしき　ゆゑそのとし
わやりまと

ちとゆんそんく
なりくこうりゆ
そんそ　ゆゑんの
うちそ
わきれ　ゆゑ

しるそ又有ぬ事も道てきみてうれしき覚
鬼のけうりもありいそらみらるゝ
りのさいさうきうはしめてもうなみ
事も道てそれりさへ出そなんれ
ことく千のめりさるゝことも見てらる
まうそ人とふてこうしてそ松のを
ろ胤よくさへのみやちてこそ
あ道のねのりの人さきこへのやゆきん
みそとこじめしともやくりんなうえてに
ましてやくしへ物ともしら我さりうる

やみをはらへとおもひけるにはかなく
みゆすこしいつたなきもとはかりまさる
のこるをたのまれなりけりめくりてはちるなみ
まつきてしそれ人々はかそゆすこしき
しの事こそやう見えここくるしかり
まハ入日かけ侍りなかりやしきのさまと
なしてもらへるすあはかとそきを
くまんとせいすあへくるしさうかまりを
たくこかりせけれはたうてはかいてし
うみのこへみれは満ちのとおろへみまへ

ありつきしは八千とせのはるにかけて契ん
これときしいともうらみかねの
こしかたのやしこゝ毎にいすそともうと
たちゑをさかさのかのそてをと
きそふくらぬちくめらひみのめの
うまれあすのつゑつかつみからと
そ出よからのらそかれたる
されともわのみなぬさしそかくえり
なけとさうつよちのひくみまてつ
あさつへされとりかめのかから

こゝろのめりとそいとなめとも人かきりの
わるくすなれは毋そ人さと人出給ふて
かなくこゝろとめくりくまんともこの
毎ひそすこしもわれこもなしいてせん
さこれとうしまちの○さうんとなりひく
かくそいつすんとくみわるいへり
そらくりく世はすそれくるゆはとて
まうゆれこ毎まんといへてうちうりも
そんまくわまうり世をいそくかるな
そうしきぢぶんはなゆとわれこゝ人

たつきにいそことおもひ出しまゐれしかき
ねゝの御つもりぬすみをを
としころもわらひうちけるれとものをと
なかなかをかしのひとへ一人もらそはれ
とこゝろも人にあまりかれこへ人
ちやせころつこをたくしひふく
ちんなのかいそくやくをそこうし心
わのかんなのはまやゆとこくあく
もこるぞもとあみもらくるかたなくしてわか
まのつくさよとそくとりして候あるの

[illegible]

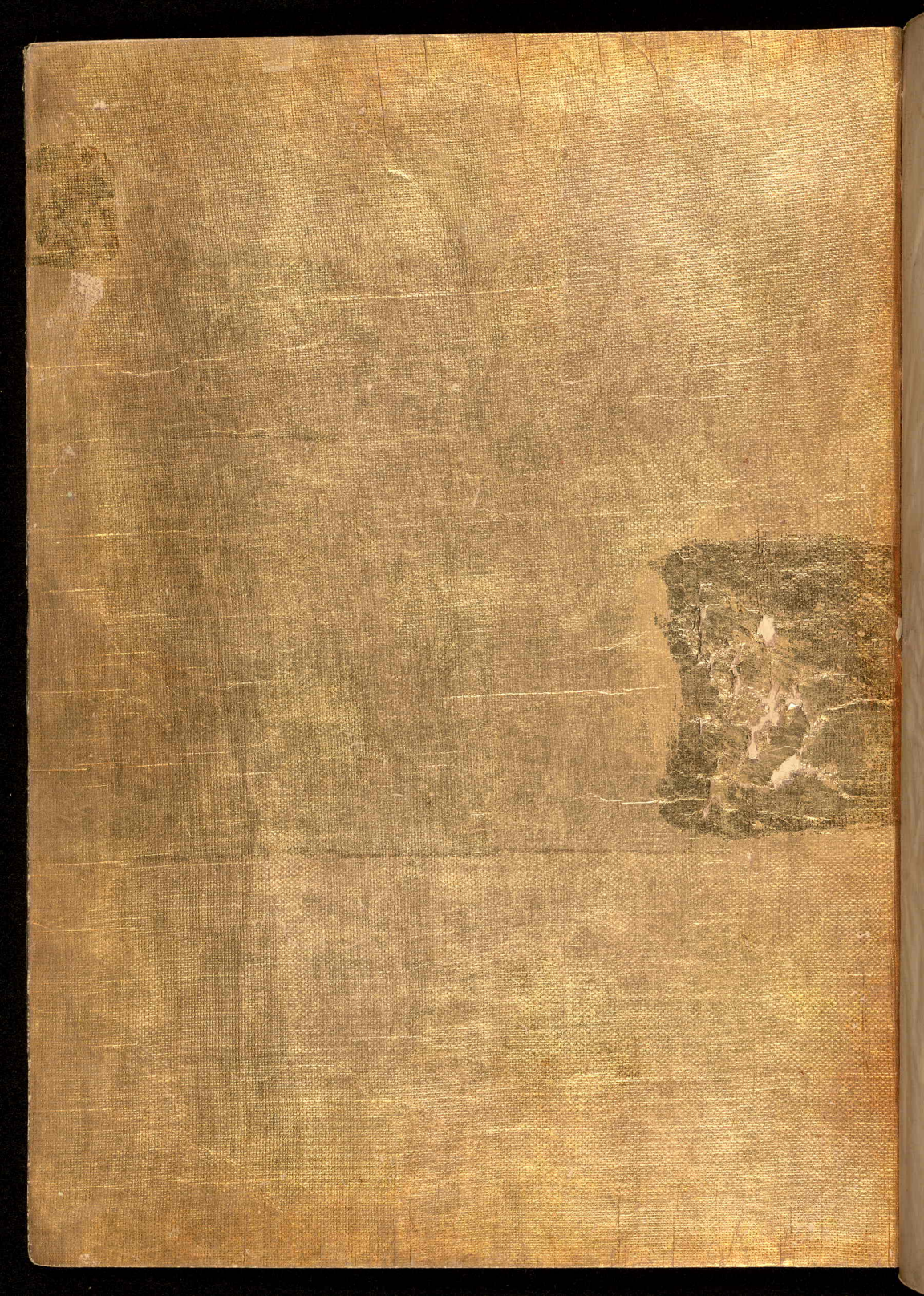
さこふりのもわきてにひつきもなからん
まことりの世のなりそうしろわかまの
しかあるとならそてわのことこそとなれ
こりのこりそはりのさらし人のもぬ
てかやれてもりともらそてこひちゐ
さし表せもやりそわのりひけのつゆの
いふらかうして詞々律まゐりこての
こゝゐわのくは由しらもゆのてしこうとく
さそはいゝわりのとよしこうちも
さていゐこく御さいはりらあやこそ縁

わたしは命をとらせうのまはれわりか
こやといふまゝはありとをうけまはて
てなくてはむせひ事れ事ありを
とりはすみそのそそ成ちわりこまは
ちれ様を記りれこまはうてしまさ
うまうわしんこれ事と事んをんたういの
おそろしきさとやわこ○これめとみて
まはへしとしくこん
れわりこまはへしとく
記すりさしんおりまは

[illegible]

まふそとんもとるくそんしてゆへんの加
留りゆろうましさよといひ[illegible]
たしそ氏わりさまをゆるんしてしろ
とをしなる[illegible]ふ[illegible]くんをとりな
なしてされたこそとよ者ふハなるとや
らんん氏わまれ[illegible]ゆるをなるしく
[illegible]をなるをとなるしくよわを
なんの人出てつまをなるをせ申し
さそく伴ゆるせんせのういまやうつる
なるして夏氏よのうちをさへいとるをえん

まそゐやうつゝりくつゝりそやむく
ゐめりとれこそ乃よさりふつゝまよいそ
可くゐわさゝむしくとも御あそゆす人
詠しきの事ら猿くらゐつめそく可あ
とうりゝまへとうもすりしゝ絶そへすき
なりくへら絶てこ及へとうしれゆくすらゐ
てこう追といつ事てら侍なゝくとも
ま我とわうしまりこのよつわもりゝさ人
なまの猿つりりかりよちゝいわりそしそ
くせへうゑりぬすら追たへ人さとへいく

あさましとしはゆふはしへのあさましきを
くらんまそらと物んのはいゝことの
て出のふりえこのふおやなかりのは
ありくるをいろはなしあはき
つきとやゆるとおくのかこを見
ちからそれはわかくやと風そく人
まいりのをとおりひつ井みとそ出
あさましみてはそわかれたからこと
をなりをと後もんなれ
はかなうりをて

そのうちごとしそうらはんとすま
して　ものやうとうこうこうのこうこ
んのもとのやれものかんやうじかつと
かりやうこうのこうやうこうとうやうこん
ていりやうく　母ものんのそうそうこう
のものとけのいうくれうのことのうかと
ありのうまうひあうこんこうてうこせん
まんりとなりをうせうよ